



馬絵飾り門楼



謹賀新年

宮司 杉田秀清



平成十一年の新しい年の新しい日を迎え謹んで新春のお祝詞を申し上げます。

歳旦祭を元旦の午前零時より斎行し、この年のご皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の繁栄と幸福そして五穀の豊穰、産業の発展をお祈り申し上げます。

皆様方それぞれ門松を飾り、メ縄をかけ、若水を汲み、新しい年をめでたく迎えのこととお慶び申し上げます。今年「卯」の年でございますが、「うさぎ」の年で、毎月の第一の卯の日が当宮の「ご縁日」として、長く神事を斎行してまいりました。その意味で、鵜戸神宮としても、ゆかりの年であります。今年はまだに、兎が飛び跳ねる「飛躍する」よき年となり政治も、経済も社会も、又皆様も鵜戸神宮の大神様の大稜威を蒙り良き年になるように念願しているところでございます。

さて昨年六月九日の大雨で崩壊した参道の復旧も、宮崎県のご指導のもと順調に進み去る十二月末で参道は参詣するには何ら支障ないまでに復旧することが出来ました。この間全国の皆様からお寄せいただきました、激励や、お見舞、又誠意あふれる復旧に対するご浄財等は何よりも力となり、ここに厚くお礼申し上げます。

鵜戸神宮は、自然の織りなす波濤と奇岩、風光明媚なる巖窟に神鎮りましてその風趣を生かすべくこの度の復旧も自然との調和、自然を損なわぬよう充分配慮して施工いたし、あとは千鳥橋の欄干と灯籠の修復等が残るのみとなりました。社頭は新しい年を迎え益々殷賑を極めております。東方海上に朝日の昇をみる時、太古さながら、奇巖や波や光り輝く太陽や海に神秘なる神の御業を見る思いがいたします。是非、お誘い合わせご参詣下さい。

ここに年頭にあたり皆様の平安とご多幸をお祈りしてご挨拶いたします。

平成十一年 元旦



Welcome to Udo Jingu.

- 由緒
- ご祈願
- 境内案内
- 年中行事
- 交通
- Q&A

十月一日、念願のホームページを開設した。これは各方面からの問い合わせも多く、又、パソコンの普及率も高くなり、インターネットを利用する人々も一千万人に達し、年々急増している事から教化の一環として開設した。

項目は、由緒・ご祈願・境内案内・年中行事・Q&Aの六つになっている。ホームページアドレスは左記の通り。
興味のある方は、是非ご覧下さい。
<http://www.nr.surf.ne.jp/~udo/>

ホームページ開設

- 1月1日 歳旦祭
- 1月3日 元始祭
- 1月8日 日南地区交通安全祈願祭
- 1月21日～22日 責任役員会
- 1月26日 愛知県神社庁西尾幡豆支部長 新家正比古氏他 90名参拝
- 2月1日 例祭
- 2月4日 第45回剣法発祥 鶴戸山頭彰剣道大会
- 2月8日 鶴戸稲荷神社例祭
- 2月11日 第26回鶴戸神社 四半の大会
- 2月17日 紀元祭
- 2月18日 二日市八幡宮宮司 梅野惟和氏 他51名参拝
- 3月10日 祈年祭
- 3月13日 責任役員会
- 3月13日 宮内庁書陵部陵墓課長 瀧島聡 氏他1名参拝
- 3月13日 宮内庁御陵牧場 畜産課 古野氏

- 3月18日 他2名参拝
- 3月18日 明治神宮崇敬会 柏支部 関尾明 氏他30名参拝
- 3月29日 第12回シヤンシヤン馬道中唄全 国大会決勝
- 4月1日 権宮司就任奉告 3組参拝
- 4月14日 責任役員会
- 4月15日 宮内庁長官官房 秘書課課長補佐 橋之口文夫氏他 1名参拝
- 4月16日 氏子・崇敬者総 代会
- 5月1日 氏子総代委嘱式
- 5月5日 節句祭奉祝行事 いさみ太鼓奉納
- 5月6日 崇敬者総代会
- 5月11日 長野神社宮司 馬杉宗伸氏参拝
- 5月22日 天皇皇后両陛下 御渡御行幸啓安 泰祈願祭
- 5月25日 別当宮司先賢慰 霊祭
- 5月27日 愛知県神社庁名 古屋支部 武田



大本教副教主 出口京太郎氏

- 6月6日 天皇皇后両陛下 御渡御還幸啓奉 告祭
- 6月12日 鹽竈神社総代 千葉吉郎氏他7 名参拝
- 6月13日 大本教副教主 出口京太郎氏 参拝



大阪天満宮宮司 寺井種伯氏

- 6月1日 正典氏他6名参 拝
- 6月2日 責任役員委嘱式 鶴戸神宮敬神婦 人会総会
- 6月4日 大阪天満宮宮司 寺井種伯氏他42 名参拝

社務日誌抄

新嘗祭 齋行

十一月二十三日、新嘗祭が宮中をはじめ全国の神社で斎行された。
新嘗祭は、新穀を神々に捧げ、その恵に感謝する祭儀であり、宮中では天皇陛下が新穀を天神地祇にお供えして、収穫を神恩に感謝すると共に御自ら聞き召される。
当宮でも午前十一時より



十一月二十三日、新嘗祭が宮中をはじめ全国の神社で斎行された。責任役員、総代をはじめ崇敬者等多数の参列を賜った。
祭典には、日南、串間市をはじめ南那珂郡内から献穀米・献酒・献菓子等が奉納された。
又、今年も鶴戸小学校四年生による“こども神楽”が奉納された。



災害復旧工事経過報告

先般六月九日に起こった参道の土砂崩れ災害は、各方面のご尽力により参道下方の沿岸漁業の保護を最優先とする復旧治山事業として林野庁に採択された。

八月六日に工事安全祈願祭を斎行し、計画された宮崎県南那珂農林振興局林務課や施工者の浜田建設も、国定公園であり境内地である事にご注意頂き乍ら年内の竣工に向け工事が始められた。復旧工法については井桁ブロックやコンクリート擁壁などの土留工は斜面の安定を図るだけでなく、植栽樹や現地発生石材による石垣を施して参道との調和を図り、又、植栽工も使用する樹木、草木類、植生土の等の種子は周辺に生育する植物と同じ種類にするなど自然景観にも配慮されている。
尚、崩壊した玉垣や灯笼、そして電線などの諸設備の復旧工事も山腹復旧工事の



進捗状況に併せながら着工の予定である。

別当宮司 墓地墓石調査

八丁坂の最高所に位置する別当墓地には、第五十代桓武天皇の延暦元年に初代別当となった僧、光喜坊快久の墓と伝えられる五輪塔をはじめ、第五十九世、観空法印までの代々の別当ならびに、歴代宮司の墓がある。

これらの墓石は、風化によりいつ頃立てられたのか不詳の物も多い。この為、墓石の風化による年代調査が九月十六、十七日の両日、熊本大学教授工学博士 尾原祐三氏、熊本工業大学土木工学科助教工学博士 平田篤夫氏らによって行われた。この調査報告書は、今年発表される予定である。



平成11年 厄祓一覧表 (但、数え年)

女 性			男 性		
	昭和44年 31才	厄入		昭和35年 40才	
昭和39年 36才	昭和43年 32才	昭和57年 18才	前厄	昭和15年 60才	昭和34年 41才
昭和38年 37才	昭和42年 33才	昭和56年 19才	本厄	昭和14年 61才	昭和33年 42才
昭和37年 38才	昭和41年 34才	昭和55年 20才	後厄	昭和13年 62才	昭和32年 43才
	昭和40年 35才		厄明		昭和31年 44才

厄年は人生の転機にあたり、心身共に苦勞の多い年令と言われています。
年の始めに御参拝を賜り御祈禱を受けられまして、本年も無病息災にお過し下さいますよう御案内申し上げます。

厄入・厄祓・厄明の御案内

七五三参りは、古くより子供の成長を祝う人生儀礼であり、子供の成長を神様に感謝し、これからの無事をお願いするお参りである。
七五三祝が、十一月十五日に定着したのは、徳川五代將軍綱吉の子徳松の祝からとも伝えられており、三歳の男女は「髪置」といい、頭髪を伸ばし始める事を、五歳の男子は「袴着」といい、初めて袴を着用する事を、七歳の女子は「帯解」といい、幼児用の紐を解き大人と同じ帯をする事を表している。
今年も、十五日が日曜日と重なり、又、天候にも恵まれ、例年より多くの七五三参りをする家族で賑わい、あちらこちらで記念写真を撮る光景があった。

七五三詣



表彰

九月二日、県神社庁総会に於いて崇敬者総代 富士正氏が神社神道の昂揚に特に顕著な者として、又、金川兵三郎氏、坂元忠男氏、古澤家光氏、上倉与七氏、門川校雄氏五名が総代十年以上勤続として表彰された。これらは永年の功績が認められたものであり、当宮としても大変光栄なことである。

新職員紹介

巫女 日高 瑞恵
生年月日 昭和五十四年三月四日
趣味 旅行
常の信条 根性
最終学歴 日南振徳商業高等学校



辞令
鵜戸神宮名譽宮司の称号を授ける
神社本庁 (九月一日)
鵜戸神宮祓宜 谷口 正史
神職身分二級とする
神社本庁 (九月一日)



東京都神社庁杉並支部



明治神宮宮司 外山勝志氏

7月9日 東京都神社庁杉並支部大宮八幡宮宮司 鎌田紀彦氏他12名参拝

6月18日 責任役員会
6月20日 五神宮宮司会
6月30日 大祓式
7月2日 日南地区産業安全祈願祭
7月3日 宮司就任奉告祭
7月7日 明治神宮宮司 外山勝志氏他1名参拝



寒川神社宮司 多田一馬氏

9月25日 梅原 猛氏他5名参拝
10月20日 静岡県神社総代会会長 竹上善博氏他6名参拝
神社本庁副総長 加藤知衛氏他1名参拝
鹿児島県 八坂神社宮司岩切義治氏他29名参拝

7月22日 今山大師住職 野中玄雄氏他14名参拝
8月26日 責任役員会
9月2日 県神社庁総会出席の為宮司、役員、総代、職員 出向
9月10日 寒川神社宮司 多田一馬氏他6名参拝



梅原 猛氏

10月21日 山梨県総代会 池田会長他参拝
10月24日 祐徳稲荷神社宮司 鍋島朝倫氏他24名参拝
11月3日 明治祭
11月13日 福島県 油井神社宮司 松本正氏他63名参拝
11月17日 兵庫県 金刀比羅神社 田淵宮司他氏子参拝
11月23日 新嘗祭
11月25日 東京都 西之宮稲荷神社 祓宜 唐松孝文氏他45名参拝
11月29日 宮崎県 尾末神社宮司 那須通丸氏他21名参拝
12月23日 天長祭
12月31日 大祓式・除夜祭

30日	30日	8日	1日	5月中旬	6日	5日	4日	3日	1日	30日	9日	3日	1日	21日	4日	1日	23日	17日	11日	8日	3日	2日	1日	31日	15日	15日	7日	3日	2日	1日	日
16時	10時	10時	10時	11時	10時	9時	10時	10時	10時	10時	11時	10時	10時	10時	10時	10時	11時	10時30分	11時	10時	10時	10時	10時30分	16時	引き継ぎ	9時	7時30分	7時30分	0時	時間	
末社	一之卯	六	六	立夏	五	一之卯	五	四	一之卯	三	一之卯	二	二	二	二	二	三	大	中	一之卯	大	大	二	二	二	中	中	中	中	一	一
大祓式	住吉・九柱両神社例祭	月次祭	月次祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭	皇太后陛下御参拝記念祭

参道復旧協賛者芳名

(平成十年七月十五日〜十一月二十一日) (敬称略)

戸

Table listing names of donors from the '戸' (Household) section, organized by family name and given name.

戸

Table listing names of donors from the '戸' (Household) section, organized by family name and given name.

戸

鶉

(第47号)

Table of names for page 8, organized by family name and given name. Includes names like 姫嶋 一光, 関根恵美子, 井村 康, etc.

(第47号)

戸

鶉

(9) 平成11年1月1日

Table of names for page 9, organized by family name and given name. Includes names like 里見 大間, 坂本 繁友, 坂本 繁友, etc.

鵜

戸

Table of names for page 11, organized by family names (e.g., 五十嵐, 森, 金丸) and individual names.

鵜

戸

Table of names for page 10, organized by family names (e.g., 戸高, 櫻井, 高橋) and individual names.

鶯

戸

Table of names and family details for page 13, organized in 10 columns and 15 rows.

鶯

戸

Table of names and family details for page 12, organized in 10 columns and 15 rows.

福畑 昇	三浦 示明	山本 英二	大塚 麻央	梅田 兼一	川崎 兼一	牧 ミネ	堤 英子	堤 治矣	北野 登	南村 寒司	福留 俊也	小畑 博資	片山英美子	大谷 隆英	樺山 資夫	澤田 稔	高瀬 俊之	田野 茂稔	高岡 勝	梅尾 直作	市来原和也	島山富久代	高橋 京子	高橋 一博	三部美津子	原山 正昭	深谷 朝負	徳永新一郎	宝徳ハマ子	坂見 晴国	堀江 猛	田村六太郎		
廣島たくみ	佐々木寿一	高橋 忠七	川口 繁明	八木 繁明	池田圭次郎	武田 幸雄	黒木ササコ	大山 孝一	西田 静子	大徳 純雄	西半 直子	石井カオル	石井 義明	田中 知吉	坂本 博	林 茂夫	花野 瑞穂	古川 隆禪	原田 順子	松本 佳子	池田 悟	渡辺 勝恵	上田 芳子	鬼木 輝子	許斐富美子	枝川 貞子	森川 明	園田 法秀	小出水寿英	岡田 基司	寺田 末広	岩本 和義		
東谷 吉雄	大野 純彦	迎 八ナ	萩原 正義	西村 隆俊	馬渡 勝子	田爪イツ子	吾田 泰則	吉田 隆男	川越 幸道	鮎川ヨシ子	人見 富夫	土屋 徳美	幸田 幸三	元水テル子	梅山 岩男	平内 信重	児玉 裕雅	谷 利徳	藤本 正孝	瀬尾紗衣子	内藤 和夫	岩永 満野	八代 茂	助川 静子	酒井 郁生	宮村 育彦	小牧眞由美	瀬島 芳徳	宮田 敏春	渡邊 明	吉村 文治	八尋 徹		
若杉 正二	黒木 久栄	縄田 正美	真田 広美	小野 綾子	林 仲幸	山口 倫男	中村 光男	吉野 忠康	末吉 信男	上田 良雄	珂支部	神社庁南那	濱田 保行	田代 重信	濱田 数一	石川 重義	伴 泰一	林 登巳雄	小倉 直治	岩村 武光	清山 繁	相野 緑	河野 芳亘	洪江 静子	甲斐 修史	平永 哲子	井上 光子	馬場 義夫	中田 義勝	山下 守	宮元 茂雄	井上 誠		
島田 敏明	加納 裕之	安西 裕之	小野里良夫	仲 幸子	西原 邦	田ノ上幸宏	津村 薫	山根 昭二	志摩 捷二	木田 和代	西田 隆昭	歌津 正武	市原 希雄	中村 希雄	伊豆本直樹	木原 達美	東條 征史	溝口香代子	赤司 重征	山根 栄子	田村 義弘	片岡 眞一	島中 掬江	長友 陽子	吉田 積美	羽原 豊	寺田 良一	奥田 利一	斯波 厚幸	七京 会	笹原あさひ			
海野 幸夫	村山徳五郎	村上 太朗	守屋 宏	鬼塚 ノブ	中村 幹代	榎山 幸子	磯貝 良洋	石川 久子	石川 益造	相沢 茂治	秋山 長利	小須田弥夫	高見沢憲之	竹内 勉	井上 義久	山寄 新平	笠原 スミ	笠原 裕志	佐藤 幸	阿萬 英俊	長谷川光雄	日比野元彦	東 三郎	武田 恒司	木村 勲	外山 廣美	添田 規矩	平塚 尚二	八田 幹也	藤田 昭男	藤原 江吾			
伊藤 肇躬	楠元クミ子	北野 信政	川口 定夫	宮澤 進	西澤 朗	肥田 利通	早川 和治	筑田 京子	橋口 照二	野田 嘉明	永山 義美	川添 静幸	小松 裕敬	幹倉 一義	小川 慧	里 悦子	大崎 貞夫	山田 魁夫	野田 礼子	井坂 京子	白杵理津子	山脇 美昭	山脇 美昭	林田 薫	堤田慶次郎	大山 勝郎	加賀 公策	樋田 昌福	山際 了	武田 茂雄	河野 健太			
手束ユリヲ	松見 初恵	西野 武明	菅沢 和志	秋山 豊	桑原 敬一	和田 健義	早川 和治	筑田 京子	橋口 照二	野田 嘉明	永山 義美	川添 静幸	小松 裕敬	幹倉 一義	小川 慧	里 悦子	大崎 貞夫	山田 魁夫	野田 礼子	井坂 京子	白杵理津子	山脇 美昭	山脇 美昭	林田 薫	堤田慶次郎	大山 勝郎	加賀 公策	樋田 昌福	山際 了	武田 茂雄	河野 健太			
井上 ミツ	柏谷 光雄	山形 忠義	菅藤 傅	吉田 正人	古積 邦子	横田 和洋	野田 幸行	龍岡 昇	境 キミ	宇都宮邦夫	金田実治雄	尾本準之助	天池 淳	古原 益美	石丸 秀樹	小川 正子	川崎 光俊	杉山 保子	柿木田夫三	金子理一郎	奥畑フデ子	渡戸 憲柄	曾我部 清	菅原 淳市	松谷 武	安部 定	高須 敏夫	三宅 良遠	佐伯 吉夫	平田 正彦	石坂 幸敏	杉尾ハルミ		
伊藤 造之	河野 健助	山形 忠義	菅藤 傅	吉田 正人	古積 邦子	横田 和洋	野田 幸行	龍岡 昇	境 キミ	宇都宮邦夫	金田実治雄	尾本準之助	天池 淳	古原 益美	石丸 秀樹	小川 正子	川崎 光俊	杉山 保子	柿木田夫三	金子理一郎	奥畑フデ子	渡戸 憲柄	曾我部 清	菅原 淳市	松谷 武	安部 定	高須 敏夫	三宅 良遠	佐伯 吉夫	平田 正彦	石坂 幸敏	杉尾ハルミ		

編集後記

○社報第四十七号をお届けいたします。
 ○今年は卯年。私たちは、月で兔が餅をついていると聞かされました。ここは一つ、兔さんに「不況」という文字を白に入れ、杵でつき砕いてもらい、「景気回復」という文字に、つき直してもらいたいものです。

(中武)